

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	依存症対策支援事業				事業番号	011-269	
担当部署名	健康福祉局	局	健康部	部	こころの健康センター		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(6)暮らしを支えるセーフティネットの構築	
			有	取組の方向性	⑤依存症対策の強化			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.5
			有	取組	薬物、アルコール、ギャンブル、ゲームなどの依存症対策の推進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—

2	関連計画	堺市依存症地域支援計画		
3	事業開始年度	平成 30 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条（精神保健福祉センターの設置）		

事業の概要

5	事業の実施主体	こころの健康センター					
6	事業の対象	依存症で悩む市民、依存症支援に携わる関係者、依存症当事者・家族会				対象数	単位
						-	-
7	事業の目的	依存症で悩む市民、携わる関係者を支援することで、依存症からの回復をめざす。					
8	事業内容	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条に基づき、事業を実施。 1.専門相談事業 ①薬物依存症相談 薬物依存症に悩む本人、その家族に対し、個別相談の実施。回復プログラム、家族教室、医療相談を行う。 ②ギャンブル等依存症相談 ギャンブル等依存症に悩む本人、その家族に対し、個別相談の実施。回復プログラム、家族教室、医療相談を行う。 2.地域関係機関への技術指導、教育研修 依存症に関わる支援者に対し、研修を実施し、依存症に対する知識を深める機会を提供する。 3.組織育成事業 家族会、当事者会と連携し、依存症に悩む当事者及び家族を支える支援を行う。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	—					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標	単位		実績		目標	目標
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
11 専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の利用者数	人	目標値	1,100	1,100	1,850	2,000
		実績値	3,860	1,821		
		達成率	351%	166%		
当該指標を選定した理由		市民の利用状況が実施事業の活性度等の活動状況を示す指標と考えるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		専門相談、教育研修、技術支援など各事業の利用者数の合計				
活動指標	単位		実績		目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
12 専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の実施回数	回	目標値	500	500	500	
		実績値	364	390		
		達成率	73%	78%		
当該指標を選定した理由		依存症支援において、まず支援の場、機会、窓口に関する情報を十分に提供することが最重要であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		教育研修、技術支援及び関係機関との調整会議など各事業の実施回数の合計				

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	依存症対策支援事業	事業番号	011-269
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	7,912	9,178	15,653	9,586	10,998
	国支出金	3,956	4,934	7,724	4,790	5,440
	財 府支出金	0	0	0	0	0
	源 市債	0	0	0	0	0
	内 其他（ ）	0	0	0	0	0
	記 受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	3,956	4,244	7,929	4,796	5,558
14	人件費（b）	16,200	16,200	16,800	16,800	17,400
15	年間経費（c）=(a)+(b)	24,112	25,378	32,453	26,386	28,398

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	医師報酬	R7	決算	476	238	消耗品費	R7	決算	191	96
		R8	予算	672	336		R8	予算	144	72
	会計年度任用職員報酬	R7	決算	6,248	3,124	役務費	R7	決算	6	4
		R8	予算	6,466	3,234		R8	予算	17	8
	期末勤勉手当（会計年度任用職員）	R7	決算	1,984	992	研修等参加負担金	R7	決算	100	50
		R8	予算	2,376	1,189		R8	予算	113	113
	謝礼金	R7	決算	187	94		R7	決算		
		R8	予算	276	138		R8	予算		
	旅費（費用弁償含む）	R7	決算	394	198		R7	決算		
		R8	予算	934	468		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和6年度	令和7年度
	①	専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の利用者数	人	3,860	1,821
	②	上記①にかかる年間経費	千円	25,378	26,386
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	6,575	14,490
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和6年度のみ単発の大規模講演（約1,955人）があり利用者数が出たため、結果的に単位当たり経費は削減したが、令和7年度については令和5年度以前と同等に推移している。薬物依存症に関しては、司法機関との連携を強化し、通所中や入所中の当事者に対して積極的に情報提供を行うなど、早期支援につながる働きかけを実施した。その結果、支援につながりにくい段階にある対象者へのアプローチの強化と、早期支援に向けた機会の創出を図ることができた。また、ギャンブル等依存症に関しては当事者の多くが就労しており日中の来所が困難である実情に対応するため、夜間帯の回復プログラムを定期的に実施した。その結果、従来は継続支援につながりにくかった相談者層の参加促進を実現し、安定的かつ継続的な支援の提供体制の強化につなげることができた。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	依存症と自殺は密接に関連しており、依存症は自殺リスクを高める要因の一つとされている。このため、依存症支援の推進は、自殺死亡率の減少という観点からも重要な意義を有する取組であると位置づけられる。 本事業は、すべての人が孤立せず、健康的な生活を送るための支援の充実につながることから、堺市基本計画2025の「暮らしを支えるセーフティネットの構築」に寄与したと考える。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	堺市依存症地域支援計画の方向性に基づきながら主に薬物依存症とギャンブル等依存症への相談事業や研修事業等を実施してきた。また、OACへの協力や当事者団体との連携を通じ、地域関係機関との連携の強化も行ってきた。これらの取組は依存症の予防や回復につながっていることから有効性があると評価できる。
	有効性	■ 高い □ 低い	